

2020年7月22日

当院で脳動脈瘤の治療を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2013年1月～2020年3月の間に、脳動脈瘤に対して入院し、手術ないしカテーテル治療を受けた方

【研究課題名】「脳動脈瘤の増大およびコイル塞栓術後再発におけるパロキセチンの抑制効果の後ろ向き検討」

【研究責任者】国立循環器病研究センター 病院長 飯原 弘二

【研究の目的】抗うつ薬の動脈瘤に対する増大の抑制やコイル塞栓術後の再発を抑制するかどうかを調査するため

【利用する診療情報】

生年月日、年齢、性別、既往歴、喫煙歴、内服歴（パロキセチンの内服の有無及び内服期間、スタチン及びアスピリンの内服歴の有無）、手術歴（コイル塞栓術、クリッピング術）、画像検査所見（少なくとも2回以上の脳血管画像：脳血管3次元造影CT、脳血管MRA、脳血管検査）

【外部機関への研究データの提供】

上記の診療情報を、次の研究機関に提供して、共同で研究を進めます。

・ 研究事務局及び研究責任者

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 丹羽 陽子（研究代表者）、福田 俊一

住所：〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町 1-1

TEL：075-641-9161

FAX:075-643-4325

【研究期間】研究許可日より2021年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

本研究で得られた臨床情報およびその抽出ロジックを将来、脳卒中や循環器疾患の研究のために二次利用する場合や、研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。同意取得の手続きとしては、オプトアウトの機会を設ける場合があります。オプトアウト文書は国立循環器病研究センター公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp/>) の『実施中の臨床研究』のページに公開いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 病院長 飯原 弘二
電話 06-6170-1070(代表)